

校長及び教員としての資質の向上に関する指標

資料1-1

(1) 教員としての資質の向上に関する指標

ステージ	教職着任時	第1ステージ		第2ステージ		第3ステージ		第4ステージ	
		初任～教職経験5年次	基礎形成期	教職経験6年次～10年次	伸長期	教職経験11年次～20年次	充実期	教職経験21年次以降	発展期
資質能力にかかる項目	教職に就く者として求められる知識や技能を身に付けていく	実践力を磨き、基礎・基盤を固める	知識や経験に基づいた実践力を高める	中堅教員として高度な実践を展開し、若手教員の指導を行う	豊富な経験と高い専門性を持ち、高度な実践力を展開するとともに、指導力を発揮し、学校の中心的な役割を担う				
教職を担うにあたり必要とされる素養	倫理観 コンプライアンス	○法令遵守や服務規律確保の重要性を理解している。	○教育公務員としての自覚・規範意識を持ち、法令や服務規律の遵守を徹底している。 ○自らの行動が学校教育に寄せる県民の信頼に与える影響を理解し、自らを厳しく律することができる。	○教育公務員としての自覚・規範意識を持ち、法令や服務規律の遵守を徹底するとともに、他の教職員に適切な指導・助言ができる。 ○自らの行動が学校教育に寄せる県民の信頼に与える影響を自覚し、自らを厳しく律するとともに、他の教職員に適切な指導・助言ができる。					
	社会性 コミュニケーション力	○社会人としての常識・教養を身に付け、立場に応じた発言・行動ができる。	○相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝えることができ、組織の一員として行動できる。 ○確かな人権感覚を持ち、児童生徒や保護者、地域等との信頼関係を構築することができる。	○教職員間の円滑なコミュニケーションを促進し、活力ある組織づくりに貢献できる。 ○確かな人権感覚を持ち、児童生徒や保護者、地域等との信頼関係を構築するとともに、他の教職員に適切な指導・助言ができる。					
	教育的愛情 使命感 責任感	○児童生徒に対する教育的情愛、教員としての使命感や責任感を身に付けている。	○児童生徒に対する教育的愛情にあふれ、教職への誇りと責任感を持って職務を遂行することができる。	○児童生徒に対する教育的愛情にあふれ、教職への誇りと責任感を持って職務を遂行するとともに、他の教職員に適切な指導・助言ができる。					
	学び続ける意欲	○自己研鑽の必要性について理解し、自ら学び続ける意欲を持っている。	○探究心を持って自己研鑽に努めるとともに、他の教職員からの指導・助言を真摯に受け止め、改善に生かすことができる。	○探究心を持って自己研鑽に努めるとともに、他の教職員に適切な指導・助言を行い、学校組織の中で「教職員を育てる文化」の醸成に寄与することができる。					
教職を担うにあたり必要とされる専門性	児童生徒理解	○児童生徒一人ひとりの実態や生活背景を踏まえ、個々の児童生徒に対して細やかな配慮をすることの必要性を理解している。	○児童生徒一人ひとりの実態や生活背景を把握し、カウンセリングマインドを持って向き合うことができる。	○児童生徒一人ひとりの実態や生活背景を的確に捉え、カウンセリングマインドを生かして、一人ひとりに対する理解を深めることができる。	○児童生徒一人ひとりの実態や生活背景を的確に捉え、カウンセリングマインドを發揮し、個に応じて問題解決への道筋を助言する等、適切に対応することができる。	○児童生徒一人ひとりに応じた適切な指導方針を立て、教職員同士をつなげ、他の教職員に指導・助言を行いながら、適切に対応することができる。			
	授業計画	○教科に関する専門的知識・技能を有し、学習指導要領に基づく授業づくりができる。	○学習指導要領のねらいを踏まえ、児童生徒の実態に応じて、児童生徒主体の授業づくりができる。	○学習指導要領のねらいを踏まえ、児童生徒の発達段階や習熟度に応じて創意工夫を凝らした授業づくりができる。	○高い専門性を生かした授業づくりを行うとともに、授業構想に関して他の教員に適切な指導・助言ができる。	○高い専門性を生かした授業づくりを行うとともに、学校全体を考慮してカリキュラム・マネジメントを意識しながら指導計画を作成することができる。			
	授業実践	○学習指導要領に基づく授業を展開することができる。	○児童生徒主体の授業を行うための適切な技能(説明・指示・发問等)を身に付け、各限の目標を明確にした授業を実践できる。	○児童生徒の発達段階や習熟度に応じ、創意工夫した授業を実践できる。	○児童生徒の発達段階や習熟度に応じ、創意工夫した授業を実践するとともに、他の教員に適切な指導・助言ができる。	○児童生徒の発達段階や習熟度に応じ、創意工夫した授業を実践するとともに、教員の意欲を引き出しながら適切な指導・助言ができる。			
	授業改善	○授業研究の必要性を理解し、授業改善に向け、継続した努力ができる。	○教科指導に関する技能の向上に努めるとともに、常に自らの授業を振り返り、授業改善に努めることができる。	○自らの授業を客観的に振り返り、他の教員の良いところを取り入れて授業改善をすることができます。	○校内研修や各種研修会の中核として研究推進に携わり、授業のポイントを分析する等、指導について積極的に発信することができる。	○校内研修や各種研修会の中核として研究推進に携わり、組織全体の指導力向上に貢献することができる。			
生徒指導		○個や集団を指導するための手立てを理解し、児童生徒の普段の様子(サイン)から問題行動等に気づくことができる。	○日常的に児童生徒の生活状況を把握するとともに、児童生徒の発するサインを見逃すことなく、問題行動等を早期に発見し、他の教職員に報告・連絡・相談しながら迅速に対応することができる。	○日常的に児童生徒の生活状況を把握し、必要な声掛け、指導を行うとともに、問題行動等の早期発見、迅速な対応を組織的に行うことができる。	○児童生徒の生活状況や内面を理解し、必要な指導を行うとともに、問題行動等の背景や原因を的確に把握し、適切な指導を組織的・系統的に行うことができる。 ○生徒指導上の諸課題について、他の教職員に適切な指導・助言ができる。	○児童生徒の生活状況や内面を理解し、必要な指導を行い、生徒指導上の問題解決に向け、具体的な方策を立て、組織的・系統的に取り組むことができる。 ○生徒指導上の諸課題について、他の教職員に適切な指導・助言ができる。			

ステージ	教職着任時	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	第4ステージ
		初任～教職経験5年次	教職経験6年次～10年次	教職経験11年次～20年次	教職経験21年次以降
教職を担うにあたり必要とされる専門性	資質能力にかかる項目	教職に就く者として求められる知識や技能を身に付けていく	実践力を磨き、基礎・基盤を固める	知識や経験に基づいた実践力を高める	中堅教員として高度な実践を展開し、若手教員の指導を行う 【指導教諭】 高い専門性に基づき、教員の授業力の向上のための指導・助言を行う 【主幹教諭】 関係主任と連携して管理職を補佐し、学校の管理運営に関する事項等を行う
		○学級担任等の役割や職務内容を理解するとともに、学校組織や校務分掌を理解している。	○学校教育目標を理解し、学級経営や教科指導を実践することができる。	○学校教育目標を理解し、学級経営や学校運営に積極的に関わるとともに、担当する校務分掌についての企画・立案や改善策を提案できる。	○学校の課題解決に向け学級経営や学校運営に積極的に参画し、他の教職員に適切な指導・助言を行い、学校全体の教育活動の活性化に寄与することができる。 【主幹教諭】 ○校長の経営方針を踏まえ、各分掌における課題について解決策を提案し、適切な学校運営に中心的に参画することができる。
		危機管理	○学校における安全配慮義務や危機管理の重要性を理解し、行動できる。	○児童生徒の活動に際し、常に危機管理意識を持ち、他の教職員の指導・助言を受けながら的確な安全確保策を講じることができる。	○児童生徒の活動に際し、常に危機管理意識を持ち、周囲と相談・確認しながら、的確な安全確保対策を講じることができる。 【主幹教諭】 他の教職員に適切に指導・助言しつつ、学校安全にかかる研修会等を企画し、実施することができる。
		チームワーク人材育成	○周囲からの指導・助言を真摯に受け止め、周囲と連携・協力して行動することができる。	○組織の一員としての自覚をもち、他の教職員からの指導・助言を受けながら協働し、円滑に職務を遂行することができる。	○主体的に職務を遂行するとともに、課題を共有できる環境づくりに努め、若手教員をサポートしながら学び合うことができる。 【指導教諭】 ○自校を中心に、授業観察を通じた指導・助言や個別相談を行う等、教職員の指導力の向上に取り組むことができる。 【主幹教諭】 ○学校全体の課題解決に有効な企画を管理職に提案し、教職員を指導・育成することができる。
		家庭・地域社会・関係機関との連携と協働	○学校が家庭や地域、関係機関等と連携して教育活動を行うことの効果や重要性を理解している。	○主体的・積極的に家庭や地域との接点を持ち、良好な信頼関係を築くとともに、他の教職員の指導・助言を受けながら適切に対応することができる。	○家庭や地域、関係機関等と良好な信頼関係を築き、連携・協働した取組に主体的・積極的に参加することができる。 ○家庭や地域、関係機関等と連携した取組において、地域への貢献を考えて行動するとともに、他の教職員に適切な指導・助言ができる。
		ワーク・ライフ・バランス	○ワーク・ライフ・バランスの重要性を理解している。	○業務の簡素化や効率化について他の教職員と相談しながら業務改善を図り、健康で意欲的に職務を遂行できる。	○個々の生活環境の違いを理解し、教職員が協力しあえる組織風土づくりに努めるとともに、業務の簡素化や効率化について、他の教職員とともに業務改善を図り、健康で意欲的に職務を遂行できる。
		グローバル教育・郷土教育	○郷土を愛し、国際的理を深めることの大切さを理解している。	○児童生徒が地域の出来事や異なる文化について考える機会を設け、郷土を愛する心と豊かな国際感覚を醸成することができる。	○児童生徒に地域・社会の出来事や異なる文化に关心を持たせ、郷土を愛する心と豊かな国際感覚を醸成するとともに、他の教職員に適切な指導・助言ができる。 ○学校全体の取組において、児童生徒に豊かな国際感覚を醸成し、郷土教育を実践するための指導的役割を果たすことができる。
		キャリア教育	○社会の動向やニーズに 관심を持ち、キャリア教育の重要性を理解している。	○児童生徒が生き方や職業について考える学習機会を設け、集団の中で協働的に行動できる等、児童生徒の発達段階に応じた社会性を育むことができる。	○就業体験や職業理解を深める学習機会を設ける等、児童生徒の発達段階に応じた社会性の育成を通して自己実現を図る指導を行なうことができる。 ○児童生徒が自ら進路を切り拓き、社会的・職業的に自立する力を身に付けるために、指導体制を整備し、他の教職員に適切な指導・助言ができる。
		情報教育	○ICTの効果や情報教育の必要性を理解している。	○児童生徒に対して、情報モラルについて指導することができるとともに、ICTの効果的な活用方法を積極的に学び、教育活動に取り入れることができる。	○学校全体の情報モラルの向上に努めるとともに、ICTの効果的な活用による授業改善を推進し、学校組織全体の校務の効率化を図ることができる。
教育課題への対応力	人権教育	○人権教育の意義とその重要性を理解し、差別を解消するための自らの責務を自覚している。	○人権教育基本方針を理解している。 ○児童生徒の人権課題等を把握し、他の教職員と相談しながら、児童生徒の理解と認識を深めることができる。	○児童生徒の人権課題等を把握し、他の教職員と連携しながら、児童生徒が自ら考え、行動できる力を育むことができる。	○人権教育推進計画に基づく取組を系統的・日常的に実践するとともに、他の教職員に適切な指導・助言ができる。 ○児童生徒の実態に合わせた能動的な人権学習を構築し、解決すべき課題や指導のねらいを明らかにした全体計画の立て方等について、他の教職員に適切な指導・助言ができる。
	特別な支援を必要とする児童生徒への対応	○特別な支援を必要とする児童生徒への指導・支援の必要性を理解している。	○児童生徒の特性や実態を把握し、他の教職員の指導を仰ぎながら適切な指導・支援を行うことができる。	○校内研修や授業研究を積極的に行い、児童生徒の特性や実態を把握し、適切な指導・支援を行うことができる。	○児童生徒の指導・支援の中心的な役割を担いつつ、校内外の研修会等で実践発表や助言者等を務め、他の教職員に適切な指導・助言ができる。 ○児童生徒の指導・支援について深い識見を持ち、適切な研修計画を立て、校内外において組織的な取組を進めることができます。
	いじめに関する事項	○いじめの未然防止、早期発見の必要性を理解している。	○いじめの未然防止や早期把握に努めるとともに、早期解決に向けて、他の教職員に報告・連絡・相談をしながら組織的な対応をすることができる。	○いじめの未然防止や早期把握に努めるとともに、早期解決に向けて、他の教職員に適切な指導・助言をしながら、管理職と連携し、組織的に取り組むことができる。	
	不登校に関する事項	○不登校の予兆への気づきや積極的な関わりの必要性を理解している。	○不登校の未然防止に努め、初期段階での改善・解消に向け、他の教職員に報告・連絡・相談をしながら組織的な対応することができる。	○不登校の未然防止に努め、初期段階での改善・解消に向け、他の教職員に適切な指導・助言をしながら組織的に対応することができる。	
	防災教育	○三重県の地理的特性を踏まえた防災教育の重要性を理解している。	○児童生徒が地域の地理的特性を理解し、防災に関する知識を深めるとともに、危険を回避する方法を習得する指導ができる。	○児童生徒が地域の地理的特性を理解し、防災に関する知識を深め、危険を予測・回避する能力と自然災害に対応する力を家庭や地域と連携して育むことができる。	